

2019

ThreeBond

RACE REPORT

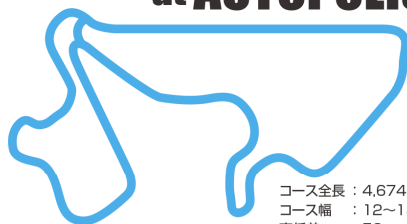
Vol.02



第3戦/第4戦/第5戦 5月18日(土)/5月19日(日) オートポリス

〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8
TEL: 0973-55-1111
<http://www.autopolis.jp/>

at **AUTOPOLIS**



コース全長 : 4,674m
コース幅 : 12~15m
高低差 : 52m
直線長 : 902m

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahren

RAVS

SHIBA

KRS
KITEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

RACE REPORT



天候：雨
気温：23℃

雨のオートポリス。大荒れの展開！

開幕戦から1ヶ月、全日本F3選手権シリーズRound 2（第3戦、第4戦、第5戦）が、5月18日（土）～19日（日）にかけて大分県のオートポリス・インターナショナルレーシングコースで開催された。

公式日程に先立ち、16日（木）、17日（金）には専有走行が設けられた。両日ともドライコンディションだったが、大津選手、三浦選手ともにマシンのセッティングに苦戦しラップタイムは伸び悩んだ。

#12大津選手は少しずつセッティングを調整しながらタイムを上げたが、トップの選手から1.8秒遅れの10番手という不本意な状況で専有走行を終え、公式予選を迎えることとなった。#13三浦選手はこれまでオートポリスを1度しか走行した経験がなく、慣れないコースを習熟しながらセッティングを進めたが、大津選手から0秒6遅れのタイムで専有走行を終えた。

#12大津選手 予選5番手

#13三浦選手 予選は悔しい12番手

▽公式予選

5月18日（土）午前10時10分から公式予選が始まった。1大会3レースの今大会では30分の予選セッションで記録したベストラップタイムで第3戦、セカンドベストラップタイムで第4戦、第3戦決勝レースの順位で第5戦のスターティンググリッドが決まる。

九州地方は朝から雨と風に見舞われた。幸いにして公式予選前には雨はほぼ止んだが路面は完全ウェットコンディションで、各車レインタイヤを装着してコースインした。ドライコンディションでは調子の上がらなかった#12大津選手は、高い水しぶきを上げながらタイムアタックを行い、チェッカーフラッグが振られた最後のラップでベストラップを記録して第3戦で5番手、第4戦でも5番手のスターティンググリッドを獲得した。「雨だとクルマの差をドライバーの技量でカバーできるので大津選手がよくやってくれました」と伊与木仁エンジニア。一方、#13三浦選手はオートポリスでは初めてのウェットコンディションに戸惑い、第3戦で12番手、第4戦でも12番手と低迷してしまった。

<第3戦>予選結果

Pos	Driver	Time
1	Sacha Fenestraz	1'50.071
2	大湯 都史樹	1'51.206
3	Enaam Ahmed	1'51.581
4	河野 駿佑	1'51.636
5	大津 弘樹	1'52.020
6	Charles Milesi	1'52.155
7	小高 一斗	1'52.694
8	宮田 莉朋	1'53.125
9	片山 義章	1'53.185
10	Ameya Vaidyanathan	1'53.928
12	三浦 愛	1'54.728

<第4戦>予選結果

Pos	Driver	Time
1	Sacha Fenestraz	1'50.565
2	大湯 都史樹	1'51.591
3	Enaam Ahmed	1'51.681
4	河野 駿佑	1'51.855
5	大津 弘樹	1'52.264
6	Charles Milesi	1'52.336
7	片山 義章	1'53.186
8	小高 一斗	1'53.394
9	宮田 莉朋	1'53.503
10	Ameya Vaidyanathan	1'53.995
12	三浦 愛	1'55.278



2019

ThreeBond

RACE REPORT

第3戦 決勝 Race



天候：雨
気温：19℃

天候は雨。全車ウェットコンディション。

▽第3戦

5月18日（土）午後2時5分、14周の第3戦決勝レースが始まった。

公式予選後、風雨は強まったり弱まったりを繰り返したが、路面は完全ウェットコンディションのまま、レースは強い風の吹き付ける中セーフティカー（SC）先導で始まった。各車レインタイヤから高く水しぶきを上げながら走行を始め、3周を隊列走行した後、事実上のスタートを切った。



#12 大津選手は5番手を守り、#13 三浦選手はスタート直後の混乱の中で一旦は11番手へ順位を上げたが6周目には12番手へ後退してレースを続けた。その後コンディションは好転せず、各車ポジションを守る展開となった。



#12 大津選手は順位を上げようと約3秒の間隔で前走車を追いかけた。

「専有走行では上位から2秒近く引き離されていましたがウェットコンディションになって上位を狙えるポジションからレースを始められました」と#12 大津選手。しかしレース後半にタイヤが消耗しペースが上がらなくなって徐々に間隔を開かれ、4位から7秒3遅れの5位でチェッカーフラッグを受けた。

第3戦 決勝結果

一方、慣れない雨のレースとなった#13 三浦選手は「結構雨の量が多かったので、まず無事にフィニッシュすることが最優先だと思って無理はしませんでした」と、自分のペースを守り続け12位でフィニッシュした。「三浦選手は少し滑るのを怖がっていたようですね」と鄭永薫エンジニアは言う。

Pos	Driver	Time
1	Sacha Fenestraz	30'33.820
2	大湯 都史樹	30'41.066
3	Enaam Ahmed	30'47.450
4	河野 駿佑	30'56.765
5	大津 弘樹	31'04.106
6	小高 一斗	31'08.526
7	宮田 莉朋	31'08.930
8	片山 義章	31'11.673
9	Ameya Vaidyanathan	31'12.290
10	Charles Milesi	31'13.265
12	三浦 愛	31'46.020

5位でレースを終えた#12 大津選手はドライバー部門のシリーズポイント2点、チーム部門のシリーズポイント2点を獲得した。

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS COFFEE

TOYOBO

zahren

RAVS

SHIBA

KRS
KITEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リボバンド



天候：雨
気温：20℃

第4戦 決勝 Race

両選手ともに悪天候の中、我慢の展開。

▽第4戦

5月19日（日）も、天候は回復せず、午前10時5分からの第4戦決勝レースもヘビーウェットコンディションのままセーフティーカー（SC）先導で始まった。3周をSC先導走行した後、事実上のスタートが切られた。#12 大津選手は第3戦の後半タイヤ消耗が進んだことを考えセッティングを変更してレースに臨んでいた。

雨は弱まったり強まったりと難しいコンディションの中で進んだ。#12 大津選手は前走車に迫り順位を入れ替えようと攻め立てたが、コース上でアクシデントが発生したためセーフティーカーが再び導入、SC先導走行となった。SC先導走行は6周目終了まで続き7周目からレースが再開された。

#12 大津選手の前で3番手争いが始まり、#12 大津選手は近づいてオーバーテイクのスキを狙うが、9周目に再びコース上でアクシデントが発生しSCが再導入された。この時点で#12 大津選手は5番手、#13 三浦選手は11番手につけている。SC先導は12周目いっぱいまで続き13周目にレースは再開されたが、全日本F3選手権の規則で決勝レース時間はスタートから35分と規定されているため、レースは予定の14周を待たず13周終了時点でフィニッシュした。最後の1周、順位変動は起きず#12 大津選手は5位、#13 三浦選手は11位でチェッカーフラッグを受けた。

「セーフティーカーが出て、チャンスが何回かあったのですが、水しぶきの多い中で思うようなレースができず悔しい結果になってしまいました」と#12 大津選手。一方、#13 三浦選手は「第3戦でペースが上がらなかったの大きくセット変更したら、逆に悪い方向へ行ってしまうペースが上がりませんでした」と言う。

5位でレースを終えた#12 大津選手はドライバー部門のシリーズポイント2点、チーム部門のシリーズポイント2点を加えた。



第4戦 決勝結果

Pos	Driver	Time
1	Sacha Fenestraz	35'33.923
2	大湯 都史樹	35'35.060
3	Enaam Ahmed	35'37.249
4	河野 駿佑	35'38.313
5	大津 弘樹	35'38.599
6	小高 一斗	35'39.821
7	Charles Milesi	35'40.781
8	宮田 莉朋	35'41.768
9	片山 義章	35'41.971
10	Ameya Vaidyanathan	35'42.466
11	三浦 愛	35'44.819

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS
COFFEE

TOYOBO

zahren

RAVS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

2019

ThreeBond

RACE REPORT



天候：雨
気温：20℃

第5戦 決勝 Race

念願の今シーズン初表彰台！！

▽第5戦

5月19日(日)午後4時15分から、レースウィークの締めくくりとして21週の第5戦決勝レースが始まった。

メインイベントとして直前に行われた全日本スーパーフォーミュラ選手権のレース中には日射しも出て、路面はドライコンディションとなっていたため、各車ドライ路面用のスリックタイヤを装着してコースイン、スターティンググリッドについた。ところがスタート直前になってふたたび雨が降り始めた。ピットではレインタイヤの準備が始まった。

非常に難しいコンディションのままレースがスタートした。11番手スタートの#13 三浦選手は1周を走り終えた段階でピットへ戻り、レインタイヤへ交換してコースへ復帰した。

「まだスリックで行けるコンディションでしたが、このまま走っていても順位は上げられそうもないと思ったので、チームから上位陣がピットインする前にタイヤ交換しようと賭けに出ました」と#13 三浦選手。

実は、チームは不安定な天候を予想して金曜日からタイヤ交換の練習を重ねており、ドライバーとチーム一丸となつての作戦だった。

「週末は天気が変わりやすいということだったので練習していました。その効果があつて早く作業を終えることができました」と鄭永薫エンジニア。

一方、#12 大津選手は5番手から好スタートで4番手へポジションを上げてレースを始めた。3番手の選手がコースインの段階で規則違反を犯し、ペナルティを受けることが分かっていたので、それも織り込んだうえで#12 大津選手は上位を目指した。



第5戦 決勝結果

Pos	Driver	Time
1	Sacha Fenestraz	35'33.923
2	大湯 都史樹	35'35.060
3	大津 弘樹	35'37.249
4	片山 義章	35'38.313
5	小高 一斗	35'38.599
6	宮田 莉朋	35'39.821
7	Charles Milesi	35'40.781
8	河野 駿佑	35'41.768
9	Ameya Vaidyanathan	35'41.971
10	三浦 愛	35'42.466

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS
COFFEE

TOYOBO

zahren

RAYS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リポビタンD

2019

ThreeBond

RACE REPORT

雨は降り続き、コンディションは悪化していった。早々にタイヤ交換をした#13 三浦選手にとっては狙い通りの展開だったが、スリックタイヤで走り続ける#12 大津にとっては厳しい状況だった。無線を使い#12 大津選手はタイヤ交換についてチームと相談したが伊与木エンジニアはそのまま走り続ける決断を下した。

「周囲が替えていないんだから替えるな、今タイヤを変えたらギャンプルになってしまう、と散々励ましました。大津選手はよく頑張りました」と伊与木エンジニア。

3番手の選手は7周目の段階でペナルティにより脱落したため #12 大津選手は3番手へ順位を上げたが、その頃には2番手の選手との間隔は13秒に広がっていた。雨は止み、徐々に路面コンディションが好転していく中で、#12 大津選手は追いつがる後続車を押さえ続け、21周を走りきって3位でチェッカーフラッグを受けた。チームにとっては今季初めての表彰台入賞だった。一方、#13 三浦選手はレース後半にコースコンディションが好転してしまったため作戦が外れた形になってしまったが、ポジションを一つ上げて10位でフィニッシュした。

#12 大津選手はドライバー部門のシリーズポイント5点、チームも部門のシリーズポイント5点を加え、ドライバー部門シリーズランキング6番手、チーム部門シリーズランキング4番手へ浮上してRound 2を終えた。



RACE REPORT

ドライバーコメント

▽ #12 大津 弘樹選手

第5戦では集中しすぎて、実は本当に3位でフィニッシュしたのか自信がありませんでした。ようやく3位表彰台に上がったのは良かったのですが、トップ2とのタイム差を見ると自分にはまだ足りないものがたくさんあるなと思います。今年は色々なことを吸収できる場を頂いていると思うので苦手な部分、自分が克服しなければいけない部分をいち早く見極めて改善しなければならないと思っています。そういう意味では今回のレースでは大変多くのことを学びました。次回岡山は、これまでたくさん走った経験がありますし、今年もテストしているのコースですのでクルマの限界を引き出すドライビングに努めて次こそ優勝を目指します。



▽ #13 三浦 愛選手

オートポリスは2回目ということもあり雨も降ったので、結局限界を追求する走りが出来ませんでした。3レース目の判断は、結果にはつながらなかったですが、自分の中では間違っていたわけではないと思います。それよりも、メカニックの方々が金曜日から練習したピット作業で稼いでくれたタイムを自分の走りで失った部分が大きかったので申し訳ないです。こういう天候で自分の弱さ、速さが足りないだけではなくてどんな状況でもクルマの限界を引き出すという力が足りていないのだなということが見えた週末でした。次戦、岡山は得意なサーキットですし3レースありますから頑張ります。今回大津選手が表彰台を獲得するという結果を出しているのだから私もそれに続いて結果を出したいと思います。

FUJI XEROX
富士ゼロックス多摩株式会社

QMI
beyond the invisible

URC

KAJIMA

KS Material Co.

NEC

BANDO

EXEDY

NGK
SPARK PLUGS

SUNTORY
BOSS
COFFEE

TOYOBO

zahren

RAYS

SHIBA

KRS
KTEL RACE SERVICE

Swift

ODYSSEY

WPC

SP
SP AIR

TONE

PATRICK

DESCENTE

リボビタンD

RACE REPORT

▽ドライバーランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差	
		鈴鹿	AP		岡山		SUGO	富士	SUGO		もてぎ		岡山											
1	Sacha Fenestraz	10	0	12	12	11																45	-	
2	大湯 都史樹/Toshiki Oyu	2	3	7	7	7																	26	19
4	宮田 莉朋/Ritomo Miyata	9	12	0	0	1																	22	23
3	Enaam Ahmed	5	7	5	5	DSQ																	22	23
5	小高 一斗/Kazuto Kotaka	3	5	1	1	2																	12	33
6	大津 弘樹/Hiroki Otsu	1	0	2	2	5																	10	35
	三浦 愛/Ai Miura	0	0	0	0	0																	0	45

*DNS : Do Not Start 棄権 *DNF : Do Not Finish リタイア *DSQ : Disqualified 失格

*1位10ポイント、2位7ポイント、3位5ポイント、4位3ポイント、5位2ポイント、6位1ポイント

PP(ポールポジション)、FL(ファステストラップ)は1ポイント追加

▽チームランキング

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	点差	
		鈴鹿	AP		岡山		SUGO	富士	SUGO		もてぎ		岡山											
1	B-MAX RACING with motopark	10	7	10	10	10																47	-	
2	TODA RACING	2	3	7	7	7																	26	21
3	カローラ中京 Kuo TEAM TOM'S	7	10	1	1	2																	21	26
4	ThreeBond Racing	1	0	2	2	5																	10	37
5	RS FINE	0	2	3	3	0																	8	39
6	OIRC team YTB	0	1	0	0	3																	4	43

